

# 協会事業参加選手 合宿・遠征ガイドライン

はじめに

公益社団法人日本フェンシング協会（以下「協会」）が実施する国内合宿・国際大会派遣等の事業は、国からの運営費交付金、スポーツくじの売上及び民間企業からの寄附金等を財源としています。スポンサー企業や多くの人々の協力によって活動が出来ることを自覚し、感謝の気持ちを持って行動してください。

## 1. 方針

- (1) 専門家による教育的観点とする基礎知識の付与及び一貫指導を通じて人間力を高め、将来、日本代表選手としてオリンピックや世界選手権等の国際大会で活躍する選手を輩出することを目的としています。
- (2) ジュニア以下若手選手の基礎運動能力維持及び競技力向上・人間力の向上に努めます。
- (3) 参加者の安全・健康を最優先します。

## 2. 合宿・遠征に参加する前提と条件

- (1) 法令や協会の規約類、ルールに従って行動し、スポーツマンシップに則って活動すること。  
[【重要】「協会事業参加選手の行動規範」を確認する](#)
- (2) 日本国籍を有する選手。（全国公募型のキャンプはこれに限らない。）
- (3) 医学委員会より健康状態が良好と認められた者。

## 3. 協会事業参加にあたって

### (1) 持病・既往歴・アレルギー等の申告と協力

本会が実施するジュニア以下の合宿・派遣事業において、参加者に事前問診を行い、医学委員会および各事業の帯同スタッフと共有を図り、参加者が安心して参加できる体制を整えます。

○原則として、通常練習ができる良好な健康状態で参加してください。

○持病や既往歴、アレルギー有無等、事前申告にご協力いただきます。必要に応じてかかりつけ医などの判断を事前に確認する場合があります。

### (2) 派遣期間中の過ごし方と注意事項（行動規範抜粋）

- ① 協会事業において海外遠征や合宿の参加者同士で同部屋になる場合があるため、お互いが気持ちよく過ごせる空間を維持するように心がける。
- ② 現金、スマートフォン、タブレット、プリペイドカード等、金品に関わる貸し借りはトラブルの原因となるため行わない。ただし、必要に応じて、コーチ等に理由を述べて承認を得た場合は認めることとする。
- ③ コーチ等の指定する時間外に、コーチ等の承認を得ずに指定施設から外出しない。ただし、やむを得ず必要な場合は、選手の外出を承認する担当コーチ等に外出理由と外出先を申し入れて承認を得るものとする。さらに、海外遠征中において、外出先が施設外である場合は、20歳未満の者は、必ず2名以上で行動を行うものとし、1人で行動してはならない
- ④ 必要のない娯楽施設への立ち入りはしない。

- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等を操作しながらの移動は事故の原因に繋がるため原則禁止する。ただし、移動時、必要な場合の上記操作は周囲の状況を見ながら行うこととし、周囲に迷惑、自身の事故につながらないように十分注意する。
- ⑥ ソーシャルメディア及び SNS（以下「SNS 等」という。）において下記の行為を禁止する。
  - ・他人が権利を有するイラスト・写真・動画等の無断転載
  - ・過量なメッセージの投稿・送信
  - ・誹謗中傷、暴言や攻撃的な文言、その他相手方を傷つけ、または相手のプライバシーを害する内容のメッセージ等の投稿・送信
  - ・その他見た者が不快感・嫌悪感を感じる内容のメッセージの投稿・送信
- ⑦ 宿舎・施設等では原則指定された部屋・場所で過ごし、異性の部屋に入室することを禁止する。異性の選手間でやり取りをする必要がある場合には、宿舎・施設等の公の場所で行うこととする。
- ⑧ コーチ等の指示を聞く必要のある食事・移動時、携帯電話・スマートフォンを操作する行為やイヤホン着用は、コーチ等の指示が聞こえず、事故等の原因となる可能性があるため禁止する。
- ⑨ 盗撮行為（同意を得ない写真撮影を含む）、入浴施設にスマートフォンその他撮影できる機器を持ち込むことを禁止する。
- ⑩ 協会事業参加のための自宅と合宿施設等や空港等の行き来についても、協会事業に参加する者として社会の目があることを常に意識して行動する。

### (3) 競技活動

前提として、練習場では換気を徹底し、ソーシャルディスタンスを保ち、水分補給や休息を十分に意識して実施します。

○怪我の予防に努めるため、トレーナーの指示に従い、柔軟から動的ストレッチなど時間をかけて行うこと。

○ストレッチを行う際は、ストレッチマットやバスタオル等を利用すること。

○熱中症予防として各自適宜水分補給を行うこと。

○からだに痛みや異変を感じた際は、個人で判断・対処せず帯同トレーナーや指導者へ速やかに相談し、指示に従うこと。

### (4) 感染症・怪我予防

○派遣参加者（選手・コーチ・スタッフ）は、集合前 3 日間、期間中の行動・検温記録を行い、体温・体調を担当指導者に報告・提出すること。

○37.5 度以上の発熱、体調の悪化がみられる場合は参加を認めない。

○平熱が 37 度に近い選手は事前に報告を行い、過去 3 日間の検温最高値を超えた場合は参加を認めない。

○不織布マスク、体温計、消毒グッズ（除菌シート、除菌スプレー 等）を持参すること。  
（派遣参加中に体調不良時には不織布マスクの利用を原則とする。）

○手洗い、うがいの徹底。

○移動中および自室以外は原則不織布マスク着用を推奨する。

○宿泊時の部屋タイプはツイン、トリプルも対応可とする。

○タオル、衣類、飲み物等、私物の共有は禁止とする。

○各自の荷物は毎度必ず自分の部屋に持ち帰ること。

○使用済みマスクなどのゴミは自室まで持ち帰り捨てること。

4. 体調不良者・怪我への対応

(1) 国内宿期間中

○体調不良や合宿に参加困難な怪我の場合、直ちに保護者（親または所属先監督等）に連絡を入れ、必要に応じて医療機関を受診する。（合宿時に保険証を持参し、各自責任をもって保管すること）

感染症の疑いなし：自室待機とし、様子を見る。

感染症の疑いあり：体調不良者および同室者・接触者を隔離。

○体調不良者は、保護者と連絡を取り、帰路方法等の対応を決定。体調不良の状態によっては保護者に引率を依頼し帰宅早退の対応となる。

(2) 海外遠征期間中

○必要に応じて医療機関を受診し、状況判断後対応。

感染症の疑いなし、怪我：自室待機とし、静養。様子を見る。

感染症の疑いあり：体調不良者は隔離し、医師の指示に従う。遠征参加者全体の体調チェックを継続。

5. 感染症の疑いが多数出た場合の対応

（新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の疑いがある場合）

(1) 合宿を中止、即時解散とする可能性がある。

(2) 体調の状況によっては医療機関を受診、診断結果を事業担当者へ報告すること。

6. その他

○事業活動を阻害したり、信用を傷つけたりするような言動・行動はしない。

○事業参加中に知りえた情報はむやみに第三者へ漏洩をしない。

○事業参加中に生じた疑義は帯同コーチまたは事業担当者へ報告する。

○利用施設の付属備品について破損や紛失をしないように十分注意をする。

○故意や過失により利用施設に損害を与えた場合、その損害を賠償してもらう場合がある。

○スタッフの指示に従わない、周りに迷惑や危険な行為などが繰り返される場合は、参加を認めない場合がある。

○活動の記録として、写真・動画撮影及び協会の指定する SNS において広報に活用する場合があります。配慮が必要な場合は予め申し出ること。

なお、参加回答後の手配変更や不参加の場合は、いかなる理由でもキャンセル・変更手数料として参加費全額をお支払いいただきます。

以上